

2017年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会
事業報告及び収支計算書 (2017年4月1日から2018年3月31日迄)

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

名 称：No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

内 容：東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から70年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

報 告：2017年度は「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともにミーティングを複数回実施し、各担当分担して改訂下案を作成した。2018年度には改訂下案を基にテキスト制作及び校正作業を行い、文部科学省生涯学習局に改訂案を提出し審査及び指導を受ける。

名 称：No. 2 「楽譜検定」

内 容：楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

運 営：①ホームページ及び試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ及び試験システムを運営（2013年7月より公開中）。

楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し受験を促す。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置する。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1,000円、3級＝1,500円、2級＝2,000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

⑤プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。
楽譜を学ぶための支援活動音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行う。

⑥有料グレードの開始について

2018年5月現在、10～8級までの無料グレードのみ公開しており、これまでにおよそ1,000名が楽譜検定に取り組んでいる。実際に取り組んだ方から「設問が少ない」「再チャレンジが1回しかできないのでは有料グレードは受けたくない」といった意見が寄せられており、このような諸問題及び設問内容を吟味・解決した上で、有料グレードを開始する。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

名 称：No. 3「日本管打楽器コンクール」

目 的：このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12 楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞授賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

内 容：「2017年度 第34回日本管打楽器コンクール」（開催）

実施楽器部門：オーボエ・サクソフーン・パーカッション・マリimba

■オーボエ部門（定員：160名）

会 場 武蔵野音楽大学（東京都練馬区羽沢 1-13-1）

第一次予選 8月21日（月）～22日（火）

第二次予選 8月24日（木）

本 選 8月26日（土）

■サクソフーン部門（定員：320名）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷 4-15-9）

第一次予選 8月13日（日）～15日（火）

第二次予選 8月16日（水）～17日（木）

本 選 8月18日（金）

■パーカッション部門（定員：120名）

会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町 5-5-1）

第一次予選 8月21日（月）～22日（火）

第二次予選 8月24日（木）

本 選 8月26日（土）

■マリimba部門（定員：140名）

会 場 東京音楽大学（東京都豊島区南池袋 3-4-5）

第一次予選 8月21日（月）～22日（火）

第二次予選 8月24日(木)

本選 8月26日(土)

■特別大賞演奏会及び表彰式 9月1日(金) 18:00 開演

会場 文京シビックホール 大ホール (東京都文京区春日 1-16-21)

共演 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指揮 山下 一史

運営役員：運営委員長 尾高 忠明 (NHK交響楽団正指揮者)

運営副委員長 吉井 實行 (公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事)

運営副委員長 松尾 祐孝 (本公益財団理事)

運営実行委員長 石渡 悠史 (本公益財団理事)

運営委員 北島 章 (オーボエ部門審査委員長/日本オーボエ協会顧問)

運営委員 須川 展也 (サクソフォン部門審査委員長/東京藝術大学招聘教授)

運営委員 吉原 すみれ (パーカッション部門審査委員長/武蔵野音楽大学教授)

運営委員 菅原 淳 (マリンバ部門審査委員長/東京音楽大学教授)

運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

後援：内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館
文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、文京区、文京区教育委員会、豊島区、豊島区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟

特別協力：武蔵野音楽大学、国立音楽大学、東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

協力：日本オーボエ協会、日本サクソフォン協会、日本打楽器協会、日本木琴協会

協賛：京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、尚美学園大学、上野学園大学、日本大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、平成音楽大学、株式会社図書出版、東京都民銀行春日町支店、野中貿易株式会社、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JTB関東、株式会社グローバル、株式会社ドルチェ楽器、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ビュッフェ・クラボン・ジャパン、株式会社プリマ楽器、柳澤管楽器株式会社、株式会社石森管楽器、日本ダブルリード株式会社、株式会社美ら音工房ヨーゼフ、パール楽器製造株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社斉藤楽器製作所、有限会社バロックミュージック

楽器提供：国立音楽大学、東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社斉藤楽器製作所、パール楽器製造株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン

本選審査結果 (入賞者)

■オーボエ部門

第1位 Yoojin Lee (Seoul Art 高等学校在学)

- 第2位 水村 一陽 (桐朋オーケストラ・アカデミー修了)
 第3位 大庭 蓉子 (千葉交響楽団)
 入選 山本 楓 (英国王立音楽院在学)
 入選 大隈 淳幾 (桐朋学園大学研究生)

■サクソフーン部門

- 第1位 本堂 誠 (パリ国立高等音楽院在学)
 第2位 住谷 美帆 (東京藝術大学在学)
 第3位 齊藤 健太 (東京藝術大学別科卒)
 入選 都築 惇 (東京藝術大学卒)
 入選 儀賀 詩織 (東京藝術大学別科卒)

■パーカッション部門

- 第1位 吉永 優香 (東京音楽大学在学)
 第2位 池田 健太 (大阪教育大学卒)
 第3位 山口 芽依 (武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーゾコース在学)
 入選 岩下 美香 (尚美ミュージックカレッジ専門学校コンセルヴァトールディプロマ科在学)
 入選 阪口 裕太 (国立音楽大学管弦楽コース科目履修生)

■マリンバ部門

- 第1位 神谷 紘実 (株式会社こおろぎ社専属アーティスト)
 第2位 山崎 泰寛 (東京音楽大学在学)
 第3位 石田 湧次 (東京音楽大学在学)
 入選 岡田 満里子 (東京藝術大学在学)
 入選 樋渡 希美 (東京音楽大学大学院音楽研究科科目等履修生)

■第1位入賞者：【文部科学大臣賞・東京都知事賞】

- オーボエ部門 Yoojin Lee (Seoul Art 高等学校在学)
 サクソフーン部門 本堂 誠 (パリ国立高等音楽院在学)
 パーカッション部門 吉永 優香 (東京音楽大学在学)
 マリンバ部門 神谷 紘実 (株式会社こおろぎ社専属アーティスト)

■特別大賞：【内閣総理大臣賞】

- サクソフーン部門 本堂 誠 (パリ国立高等音楽院在学)

■別賞：【東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別賞】

- オーボエ部門 Yoojin Lee (Seoul Art 高等学校在学)

■別賞：【特別大賞演奏会 聴衆賞】

- サクソフーン部門 本堂 誠 (パリ国立高等音楽院在学)

名 称：No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

目 的：管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我が国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ① 「独自のサウンド」の研究を行う。
- ② 管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③ 時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④ 全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

内 容：「2017年度 第23回日本管楽合奏コンテスト」(開催)

予選審査会

2017年9月25日(月)、26日(火)、27日(水)、28日(木) <非公開>

全国大会

2017年10月28日(土) 中学校B部門

2017年10月29日(日) 高等学校B部門

2017年11月03日(金・祝) 小学校部門

2017年11月04日(土) 中学校A部門

2017年11月05日(日) 高等学校A部門

会 場：予選審査会／学校法人尚美学園本館

全国大会／文京シビックホール大ホール

主 催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

共 催：公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後 援：内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、
一般社団法人全日本吹奏楽連盟

協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社音楽之友社、株式会社JTB関東、
チャコット株式会社、株式会社東京ハッスルコピー、株式会社フォトライフ、ブレーション
株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、ローランド株式会社

運営役員：大会顧問 煙山 力 (元文京区長)

大会会長 赤松 昌代 (本公益財団理事長)

大会副会長 小澤 俊朗 (本公益財団理事)

運営委員長 石田 修一 (本公益財団理事)

運営副委員長 後藤 洋 (日本管打・吹奏楽学会常務理事)

運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

運営委員会は、運営委員長の石田修一氏(本公益財団理事)を中心とし、小澤俊朗氏(本公益財団理事)の協力のもと、2017年9月25日、26日、27日、28日に予選審査会が行われた。5部門のうち、小学校部門33校、中学校A部門36校、中学校B部門31校、高等学校A部門36校、高等学校B部門31校を選出した。また前回の最優秀グランプリ賞受賞校(5校)に対して、特別演奏及び特別表彰の機会を設けた。

報 告：全国大会結果

■中学校B部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

柏市立酒井根中学校

□最優秀賞

相模原市立相陽中学校、松戸市立小金中学校、出雲市立平田中学校、西宮市立上甲子園中学校、秋田市立山王中学校、松戸市立小金南中学校、習志野市立第五中学校、松

戸市立第一中学校、柏市立酒井根中学校、宝塚市立宝梅中学校、松戸市立第四中学校、
名古屋市立植田中学校、習志野市立第四中学校

審査員特別賞

横浜市立田奈中学校

ブレーン賞

名古屋市立植田中学校

フォトライフ賞

足立区立第九中学校

ヤマハ賞

松戸市立小金南中学校

■高等学校B部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

柏市立柏高等学校

最優秀賞

京都両洋高等学校、秋草学園高等学校、東京都立片倉高等学校、千葉県立幕張総合高
等学校、大成女子高等学校、横浜市立戸塚高等学校、箕面自由学園高等学校、浦和学
院高等学校、作新学院高等学校、春日部共栄高等学校、横浜創英中学・高等学校、柏
市立柏高等学校

審査員特別賞

千葉市立稲毛高等学校

ブレーン賞

春日部共栄高等学校

フォトライフ賞

作新学院高等学校

ヤマハ賞

福岡県立門司学園中学校高等学校

■小学校部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

関西創価小学校

最優秀賞

常総市立水海道小学校、水戸市立三の丸小学校、生駒市立桜ヶ丘小学校、武蔵野市立
第三小学校、精華町立東光小学校、習志野市立実花小学校、宮崎市立大淀小学校、那
須塩原市立大山小学校、船橋市立葛飾小学校、習志野市立東習志野小学校、関西創価
小学校、武蔵野市立第一小学校、仙台市立向陽台小学校

審査員特別賞

宮崎市立大淀小学校

ブレーン賞

武蔵野市立第三小学校

フォトライフ賞

真岡市立真岡西小学校

ヤマハ賞

仙台市立向陽台小学校

■中学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

小平市立小平第六中学校

最優秀賞

関市立武芸川中学校、小平市立小平第六中学校、志木市立志木中学校、川崎市立富士

見中学校、境町立境第一中学校、荒川区立尾久八幡中学校、松戸市立第六中学校、朝霞市立朝霞第三中学校、千葉市立土気中学校、名古屋市立汐路中学校、東広島市立中央中学校、香芝市立香芝中学校

審査員特別賞

松戸市立第六中学校

バンドジャーナル賞

苫小牧市立苫小牧東中学校

ブレーン賞

関市立武芸川中学校

フォトライフ賞

上富良野町立上富良野中学校

ヤマハ賞

宇都宮市立陽西中学校

■ 高等学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

千葉県立鎌ヶ谷高等学校

最優秀賞

藤村女子高等学校、東京都立東大和高等学校、浜松日体中・高等学校、千葉県立八千代高等学校、千葉県立鎌ヶ谷高等学校、埼玉県立三郷北高等学校、佼成学園女子中学高等学校、桐蔭学園高等学校、富山県立富山工業高等学校、慶應義塾志木高等学校、東京立正高等学校、国本女子中学校・高等学校

審査員特別賞

慶應義塾志木高等学校

バンドジャーナル賞

川崎市立川崎総合科学高等学校

ブレーン賞

国本女子中学校・高等学校

フォトライフ賞

沖縄県立コザ高等学校

ヤマハ賞

東海大学付属諏訪高等学校

■ 特別演奏及び特別表彰

小学校部門：柏市立酒井根東小学校

中学校A部門：船橋市立高根中学校

中学校B部門：日進市立日進西中学校

高等学校A部門：聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

高等学校B部門：大阪桐蔭高等学校

名 称：No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

目 的：全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

内 容：「2017年度 第20回日本ジュニア管打楽器コンクール」（開催）

開催部門：ソロ部門（12楽器の部）／アンサンブル部門（木管の部・金管の部・打楽器の部）

コ ー ス：小学生コース／中学生コース／高校生コース

実施楽器：フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目：予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間：ソロ部門 小・中学生コース5分以内。高校生コース6分以内。

アンサンブル部門 小・中・高校生コース5分以内。

受付期間：2018年01月10日（水）～02月01日（木）まで

予選考会：2018年02月17日（土）～02月18日（日）＜非公開＞

本選考会：ソロ部門＜公開審査＞

2018年3月26日（月）クラリネット・ファゴット・サクソフォーン

2018年3月27日（火）トランペット・オーボエ・ユーフォニアム

2018年3月28日（水）フルート・ホルン・チューバ

2018年3月29日（木）マリンバ・パーカッション・トロンボーン

アンサンブル部門＜公開審査＞

2018年3月30日（金）打楽器の部・金管の部

2018年3月31日（土）木管の部

会場：バリオホール（東京都文京区本郷4-15-9）

後援：文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道日胆地区吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、北海道空知地区吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、西関東吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、愛知県吹奏楽連盟、岐阜県吹奏楽連盟、富山県吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、岡山県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、山口県吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、高知県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、福岡県吹奏楽連盟、福岡吹奏楽連盟、佐賀県吹奏楽連盟、鹿児島県吹奏楽連盟、宮崎県吹奏楽連盟

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

協力：一般社団法人日本フルート協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット（バスーン）協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本サクソフォーン協会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会、日本木琴協会

協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ドルチェ楽器、株式会社こおろぎ社、東京ミューズ・アカデミー、ブレイン株式会社、株式会社フォトライフ、株式会社図書出版、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社JTB関東、尚美学園大学

楽器提供：株式会社ヤマハミュージックジャパン

報告：文部科学大臣賞（ソロ部門のみ）

小学生コース クラリネットの部 金賞 安村 藍（武蔵野市立第三小学校）

中学生コース トランペットの部 金賞 関根 美羽 (ひたちなか市立大島中学校)
 高校生コース ユーフォニアムの部 金賞 岩井田 さくら (鹿児島県立松陽高等学校)

■ソロ部門

□クラリネットの部

小学生コース

金賞	安村 藍	武蔵野市立第三小学校
銀賞	保原 杏海	東海村立村松小学校
銅賞	阿部 ほのか	苫小牧市立若草小学校

中学生コース

金賞	栗山 かなえ	春日市立春日野中学校
銀賞	星 さくら	仙台市立東仙台中学校
銅賞	猪飼 優来	旭川市立緑が丘中学校

高校生コース

金賞	蹴揚 菜々子	北海道遠軽高等学校
銀賞	松本 菜来	須磨学園高等学校
銅賞	石田 理雄	大阪府立夕陽丘高等学校

□ファゴットの部

中学生コース

金賞	山縣 由布夏	尼崎市立塚口中学校
----	--------	-----------

高校生コース

金賞	松本 拓也	大阪府立豊中高等学校
銀賞	大久保 優香	大分県立芸術緑丘高等学校
銅賞	前澤 美里	静岡市立清水桜が丘高等学校

□サクソフォーンの部

小学生コース

金賞	日野原 あや	船橋市立西海神小学校
銀賞	徳田 芽唯	船橋市立西海神小学校
銅賞	尾崎 楓樹	札幌市立福住小学校

中学生コース

金賞	片岡 晴南	大阪市立放出中学校
銀賞	重黒木 優実	習志野市立第四中学校
銅賞	萱沼 隆也	上野原市立上野原西中学校

高校生コース

金賞	放生 幹也	神奈川県立弥栄高等学校
銀賞	金子 礼	東京都立総合芸術高等学校
銅賞	外川 莉緒	北海道遠軽高等学校

□トランペットの部

小学生コース

金賞	渡辺 知世	新宿区立早稲田小学校
銀賞	藤岡 綸	葛飾区立細田小学校
銅賞	植松 琴乃	習志野市立大久保小学校

中学生コース

金賞	関根 美羽	ひたちなか市立大島中学校
銀賞	高橋 賢一郎	名古屋市立桜山中学校
銅賞	田城 風佳	加古川市立中部中学校

高校生コース

金賞	須納瀬 琳香	神村学園高等部
----	--------	---------

銀賞	林 達平	須磨学園高等学校
銅賞	檜山 沙南	栃木県立茂木高等学校
□オーボエの部		
中学生コース		
金賞	沼津 冬秋	東京都立三鷹中等教育学校
銀賞	須田 優璃	前橋市立東中学校
銅賞	入谷 栞	前橋市立箱田中学校
高校生コース		
金賞	佐藤 美海	埼玉県立大宮光陵高等学校
銀賞	森松 炎山	桐朋女子高等学校音楽科 (男女共学)
銅賞	小阪 彰太郎	愛知県立旭丘高等学校
□ユーフォニアムの部		
小学生コース		
金賞	百田 心	志免町立志免南小学校
銀賞	渡辺 遥楓	北見市立中央小学校
中学生コース		
金賞	中井 梨馨	水戸市立笠原中学校
銀賞	本所 拓真	滝川市立江部乙中学校
銅賞	齊藤 琉愛	小清水町立小清水中学校
高校生コース		
金賞	岩井田 さくら	鹿児島県立松陽高等学校
銀賞	荻野 将大	東京音楽大学附属高等学校
銅賞	杉田 優希	茨城県立取手松陽高等学校
□フルートの部		
小学生コース		
金賞	菅野 真奈	所沢市立東所沢小学校
銀賞	文 愛凜	中央区立豊海小学校
銅賞	鎌井 菜々美	船橋市立西海神小学校
中学生コース		
金賞	中島 亘平	横浜市立田奈中学校
銀賞	藤枝 麻里花	水戸市立第二中学校
銅賞	甲矢 桃子	玉川学園中等部
高校生コース		
金賞	藤野 瞳子	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
銀賞	石川 雛	浜松学芸高等学校
銅賞	橋本 佳里乃	東京音楽大学附属高等学校
□ホルンの部		
小学生コース		
金賞	廣野 皓祐	船橋市立西海神小学校
中学生コース		
金賞	智田 あか音	武蔵野市立第三中学校
銀賞	星野 基信	都城市立沖水中学校
銅賞	前田 梨花	船橋市立船橋中学校
高校生コース		
金賞	福田 萌	活水高等学校
銀賞	後藤 文哉	千葉県立千葉高等学校
銅賞	佐藤 唯衣	大成女子高等学校

□テューバの部		
小学生コース		
金賞	栗田 駿之介	北見市立北光小学校
中学生コース		
金賞	田中 輝	ひたちなか市立佐野中学校
銀賞	林 美穂	さいたま市立常盤中学校
銅賞	及川 拓真	登米市立佐沼中学校
高校生コース		
金賞	神谷 丈	帯広北高等学校
銀賞	石川 皓介	大阪府立市岡高等学校
銅賞	小森 勁	玉川学園高等部
□マリンバの部		
小学生コース		
金賞	竹内 彩乃	蒲郡市立形原北小学校
銀賞	亀井 美咲	蒲郡市立蒲郡南部小学校
銅賞	許 子微	台北市立敦化小学校
中学生コース		
金賞	新田 吏央	弥富市立弥富中学校
銀賞	並木 柊人	青梅市立第六中学校
銅賞	小林 弘樹	江東区立深川第二中学校
高校生コース		
金賞	吉崎 拓海	京都市立京都堀川音楽高等学校
銀賞	若崎 そら	国立音楽大学附属高等学校
銅賞	嘉瀬 文哉	千葉県立成東高等学校
□パーカッションの部		
小学生コース		
金賞	森田 絆里	さいたま市立大宮南小学校
中学生コース		
金賞	高橋 京	世田谷区立弦巻中学校
銀賞	中村 那稚	習志野市立第五中学校
銅賞	大矢 涼生	守口市立樟風中学校
高校生コース		
金賞	富田 康太郎	日本大学豊山高等学校
銀賞	但馬 馨	広島国際学院高等学校
銅賞	梅津 愛華	千葉県立松戸六実高等学校
□トロンボーンの部		
小学生コース		
銀賞	齋藤 花音	高根沢町立阿久津小学校
中学生コース		
金賞	服部 希実	柏市立豊四季中学校
銀賞	原田 菜花	市川市立妙典中学校
銅賞	林 智大	玉川学園中学部
高校生コース		
金賞	山村 拓海	千葉県立船橋東高等学校
銀賞	廣瀬 真琴	神奈川県立弥栄高等学校
銅賞	伊藤 匠	埼玉栄高等学校
■アンサンブル部門		

□打楽器の部

小学生コース

金賞 夢の響き ～Resounding Dreams～ 打楽器六重奏（台湾）

銀賞 マリンバラビッツ GN 打楽器三重奏（愛知県）

中学生コース

金賞 東金市立東金中学校 打楽器七重奏（千葉県）

銀賞 南国市立鷺ヶ池中学校 打楽器八重奏（高知県）

銅賞 三郷市立早稲田中学校 打楽器四重奏（埼玉県）

高校生コース

金賞 リズムミュージアム 打楽器四重奏（千葉県）

銀賞 関西高等学校 打楽器四重奏（岡山県）

銅賞 マリンバンビーノM 打楽器三重奏（栃木県）

□金管の部

小学生コース

金賞 平群マイスターズ 金管八重奏（奈良県）

銀賞 高根沢町立阿久津小学校フォルテ 金管六重奏（栃木県）

中学生コース

金賞 東金市立東金中学校 金管八重奏（千葉県）

銀賞 高根沢町立阿久津中学校 金管八重奏（栃木県）

銅賞 松戸市立小金南中学校 金管打楽器八重奏（千葉県）

高校生コース

金賞 宮城県多賀城高等学校 金管八重奏（宮城県）

銀賞 神奈川県立川崎北高等学校 金管八重奏（神奈川県）

銅賞 長野県小諸高等学校吹奏楽部 金管八重奏（長野県）

□木管の部

小学生コース

金賞 船橋市立西海神小学校 サクソフーン四重奏（千葉県）

銀賞 札幌市立南月寒小学校吹奏楽部 木管三重奏（北海道）

中学生コース

金賞 郡山市立郡山第一中学校 木管三重奏（福島県）

銀賞 市川市立第七中学校 木管五重奏（千葉県）

銅賞 浜松市立開成中学校 クラリネット三重奏（静岡県）

高校生コース

金賞 三浦学苑高等学校 木管五重奏（神奈川県）

銀賞 長野県長野高等学校 木管五重奏（長野県）

銅賞 三重県立神戸高等学校吹奏楽部 管弦打楽器十重奏（三重県）

名 称 : No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

目 的 : 作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。そこで私どもは、あるテーマ（課題）

を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実際的な方法で、優れたサウンドクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンテストの企画化を目指し、今までに在るようで無かった… こんなサウンドクリエイターのコンテストがあったら… というコンテストを開催します。

内 容：「2017年度 第5回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課 題：「架空のアニメ・ゲームのための音楽」

応募期間：2017年4月10日（月）～2017年5月11日（水）

応募方法：財団ホームページによるオンライン応募

選考期間：2017年5月22日（月）～2017年6月14日（水）PCによるデータ審査

表彰式：2017年6月28日（水）東京ビッグサイト<クリエイターEXPO>会場内

運 営：顧問 赤松 昌代（本財団理事長）
運営委員長 佐々木 隆一（本財団理事）
実行委員長 松尾 祐孝（本財団理事／チーフプロデューサー）
実行副委員長 松井 朋巳（本財団理事／ホームページ&広報担当）
実行委員 佐藤 旬（ホームページ&広報担当）
審査員 渡辺 俊幸（作曲家・編曲家）
審査員 YOFFY（作曲家・歌手）
審査員 山下 康介（作曲家・編曲家）
審査員 南沢 道義（株式会社81プロデュース代表取締役）
審査員 松尾 祐孝（作曲家・指揮者・音楽プランナー）

協 力：リード エグジビション ジャパン株式会社

後 援：一般社団法人日本作編曲家協会、一般社団法人日本作曲家協議会

参 加：グランプリ 1作品、ファイナリスト 8作品、奨励賞 5作品

報 告： ■グランプリ 張替 政彦（所属：Harry's Music）

□作品名：「End of Now」

○プロフィール

東京音楽大学作曲科（映放）卒。1993年渡米しニューヨークのマンハッタンセンタースタジオにて、アレンジャー、オーディオエンジニアとして15年ほど勤務。2008年帰国し、音楽制作事務所「Harry's Music」を立ち上げ、フリーランスの作編曲家として音楽制作を続ける。

■実行委員長特別賞 Studio B-up（所属：株式会社オーエヌオー音楽事業部）

□作品名：「Era Sanctae Bellum」

○プロフィール

クラシックを主体に様々なジャンルで活動を展開しているギタリスト大野元毅と、プログレッシブ・ロック界において絶大な人気と信頼を誇るベーシスト上田哲也による音楽制作ユニット。今までにCM、ゲーム等数々な映像作品に楽曲を提供している。

■実行委員長特別賞 古屋 沙樹（フリーランス）

□作品名：「Andrea」

○プロフィール

神奈川県南足柄市生まれ。神奈川県立小田原高等学校出身。2015年東京藝術大学作曲科卒業。作曲を安良岡章夫氏、ピアノを江口玲氏に師事。幼少時よりヤマハ東京エレ

クトーン演奏研究会に在籍し、数々のコンクールに出場。2013年に木曜コンサート[作曲]にて室内楽作品 COLOR OF SOUND Lavandula 初演。室内楽、吹奏楽の編曲や、ミュージカルの編曲・演奏も行う。同級生を中心に結成した、ぱんだウインドオーケストラの編曲・ピアノ賛助も務める。現在はサウンドデザイナーとして音楽アプリの制作や映像音楽の制作にも携わり、聴覚と他の感覚とのインスタレーション作品制作も行なっている。

■ファイナリスト ヴィラ 恵南 パトリシア (所属：デラサール大学)

□作品名：「Moon」

○プロフィール

Colegio San Agustin 高校卒業。6歳からクラシックピアノを習いはじめ、数々のコンクールで入賞。小学生の頃から作曲や JAZZ ピアノに興味をもち、趣味で始める。高校1年の時に、フィリピンの台風被害を少しでも助けるため、オリジナル曲を入れたチャリティーCDを売り、漁師の方達にボートをプレゼントした。シンガーソングライターを目指し、フィリピンの De La Salle 大学 Music Production 科在学中。現在、大学2年生 18歳。

■ファイナリスト 加藤 裕幸 (所属：株式会社 Moonbow Music)

□作品名：「Karma」

○プロフィール

幼少よりゲームが好きで場面とともに展開するゲーム音楽や映画音楽に興味をもち、作曲やギターをはじめ。ジャズギターを岡村誠史氏・竹中俊二氏に、クラシックギターを平倉信行氏に師事。主な活動は、作編曲・音楽制作・演奏・ギター教室主催など。レコーディングスタジオ・音楽制作、「株式会社 Moonbow Music」代表。Meine Meinung (マイネマイヌク) バンドリーダー。iOS 向け音楽体感ゲームアプリ “Tone sphere” 楽曲提供。株式会社ニッショー、Show ルームテーマ BGM 作曲、楽曲提供。iOS 向けゲームアプリ “ブロックモンスターズ” 作曲・楽曲提供、サウンド担当。iOS・Android 向けゲームアプリ “ダニエル！！今はフリーキック中よ！” 作曲・楽曲提供・サウンド担当。Steam 向け VR コンテンツゲーム (HTC Vive) “Destroyer” 作曲、サウンド担当。Steam 向け VR コンテンツゲーム (HTC Vive) “Head It!” 作曲、サウンド担当。iOS Android 向けゲーム “Mag Lift” 作曲、サウンド担当。ARTISAN&ARTIST EC シリーズ CM 音楽作曲・制作。

■ファイナリスト 神馬 譲 (フリーランス)

□作品名：「Exorcism」

○プロフィール

2010年に北海道から上京、以後フリーランス作曲家として、ゲーム・劇伴・唄物楽曲の制作に携わる。制作実績(抜粋)：GACKT WORLD TOUR 2016「LAST VISUALIVE 最期ノ月 LAST MOON」劇伴音楽アレンジ。舞台「Honganji」劇伴音楽制作。映画「TOKYO CITY GIRL -2016-」 「ひらり、いま。」劇伴音楽制作。ゲーム『戦国修羅 SOUL』OP テーマ曲 アレンジ。GACKT「罪の継承 ～ORIGINAL SIN～ (Orchestra Ver.)」オーケストラアレンジ。GACKT「ARROW (Orchestra Ver.)」オーケストラアレンジ。セガゲームス ゲーム「戦の海賊」公式トレーラームービーBGM 音楽制作。映画「ちばものがたり」劇伴音楽制作。GACKT×東京フィルハーモニー交響楽団 第二回「華麗

なるクラシックのタベ」 オーケストラアレンジ。舞台 MOON SAGA 義経秘伝―第一章・第二章―劇伴音楽アレンジ。「絶狼<ZERO>-BLACK BLOOD」劇伴音楽制作。他多数。 <http://jinmajinma.net/>

■ファイナリスト 中嶋 純子 (所属：洗足学園音楽大学)

□作品名：「HERMES」～古代ギリシャ紀行～

○プロフィール

5歳よりクラシックピアノを始める。洗足学園音楽大学音楽・音響デザインコース 作曲専攻 4年次在学中。現在、作曲・オーケストレーションを渡辺俊幸、ピアノを川村文雄の各氏に師事。

■ファイナリスト 二井家 邦彦 (所属：有限会社スーパーラブ)

□作品名：「ユートピアをもう一度！」

○プロフィール

2歳10カ月の頃にピアノを始め、ヤマハ音楽教室に通い始める。小学5年生の頃ギターを独学で始め、高中正義氏の曲の練習に没頭していた。中学生の頃は吹奏楽部に所属し、ドラムやパーカッションを担当。高校生の頃から徐々にポップスやロック、作曲に興味を持ち始める。2年生の時にDTMを始め、好きな曲のカバーや自作曲を多数ネットで公開していた。DTMによる作曲の楽しさを覚え、音大へ進学する決意をする。洗足学園音楽大学音楽・音響デザインコースの成績優秀賞を得て、首席卒業。作・編曲を小島有利子、奥慶一の各氏に師事。作編曲法、楽譜浄書、楽曲分析、オーケストレーションなど幅広い分野を学ぶ。卒業後、同大学助手として多くの教材づくりに携わる。ソルフェージュ学習用音源や、基礎学習ゲーム用の音源など音源制作の全般を担当。この他に音楽ゲーム開発、web ページ制作、イラスト制作などの web 開発業務も多数担当。現在はフリーランスの音楽家としてギタリストの活動や、作曲編曲活動を行っている。多くの曲が観光PRや地元イベントなど多方面で使用されている。賞歴：平成24年「彩倫」短編自主映画サントラコンペ優秀賞、及び入選。平成25年第1回 web サウンド・クリエイター・コンテスト奨励賞受賞。平成26年第1回シンフォニックポップスオーケストラのための洗足学園国際作曲コンクール入選。平成28年 四国西予ジオパークミュージックコンテスト入選。平成29年第2回四国西予ジオパークミュージックコンテスト副審査員長賞受賞。

■奨励賞 高橋 溪太郎 (所属：adNote, Basel Music academy)

□作品名：「ロスト・テクノロジー」

○プロフィール

国立音楽大学音楽文化デザイン学科卒業後、ヨーロッパに留学。作曲を専攻。

2016年より作曲家の片倉惇と共に音楽制作チーム adNote を結成し、多数の TVCM、WebCM やドキュメンタリ、ゲーム音楽などの制作を行う。adNote： <http://adnote.jp>

■奨励賞 兼清 達史 (フリーランス)

□作品名：「真夜中のペリカン」

○プロフィール

ハードロック、ヘヴィメタルに触発されてバンド活動(ベースを担当)を始める。ユニット「Magna Opus」名義で iTunes にてアルバムを2枚発表(2014～2016年)

現在はフリーランスとして音楽制作を行っています。

■奨励賞 高木 文世 (フリーランス)

□作品名: 「in the dark」

○プロフィール

国立音楽大学附属高等学校を経て国立音楽大学電子オルガン専攻を首席卒業。音楽制作会社の勤務を経て現在フリーランス。サンリオピューロランド「イースターセレブレーションパレード(2017)」音楽制作・Alice Film Collection 仮面女子『桜散れども』音楽制作・鈴木春菜「Om shanti〜この音と共に〜」アレンジ参加・Initial Film 株式会社主催 舞台「サロメ」音楽制作・ミュージカル「フラボーイ〜いわき男子高校演劇部奮闘記〜」音楽制作・日音サウンズライブラリー楽曲提供・日本テレビ音楽ミュージックライブラリー楽曲提供など

■奨励賞 永山 裕尚 (フリーランス)

□作品名: 「裁き」

○プロフィール

専門楽器: ピアノ。最近聴いてる作曲家: 芥川也寸志。音楽的趣味: 映画、ドラマのサントラ集め

■奨励賞 堀川 真理子 (フリーランス)

□作品名: 「Dark Night」

○プロフィール

2歳半でピアノを始める。9歳の時アメリカのバージニア州コンクールにて優勝。慶應義塾大学卒業後、就職するも退社し、バークリー音楽大学に入学。同大学にて作曲と出会ったことから映画音楽の作曲を学ぶ。現在、ロサンゼルスにてフリーランスで作曲活動を行う他、編曲や音楽活動などを行っている。

公3事業: 音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

名称: No. 7 「全日本市民バンドフェスティバル」

目的: 全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会を行う。

内容: 「2017年度 第10回全日本市民バンドフェスティバル」(開催)

2017年12月17日(日) 13:00~18:00

会場: 尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール

共催: 一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

協賛: 株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JTB関東、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

特別協力: 尚美ミュージックカレッジ専門学校

報告: 出演団体 計8団体

・安曇野市立豊科東小学校金管バンド部 ・昭和学院中学校高等学校

- ・やまももシンフォニックバンド
- ・Banda Sinfonica Legame
- ・松戸市立松戸高等学校
- ・千葉県立千葉南高等学校
- ・越谷市立北中学校
- ・CHIBA TRAILBLAZERS

名 称 : No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

(略称 : イムスタ International Music Software Trade Association)

目 的 : 違法コピーが蔓延している昨今、2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

内 容 : ①Facebookでの普及啓蒙活動の実施

啓蒙活動予定 : イベントプロモーションを行う。 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

②広報活動

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及びWEBへの掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④ 店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。

⑤ 2019年日本でのIMSTA Festaを開催予定。準備会議を数回行う。